

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	1年 外国語活動（10月） カテゴリ：数
③言語活動の充実を目指した授業作り	佐賀県吉野ヶ里町立三田川小学校 1年担任北島里菜

数で遊ぼう ～慣れ親しみの活動を大切に～

本校では、全学年で外国語教育に取り組んでいる。1年生の発達段階を踏まえて、まずは単語レベルで楽しむことができる児童を目指して授業づくりを行った。本単元では、数の英語表現に慣れ親しむための学習活動を設定した。今回はその手立ての一例を紹介する。

1 慣れ親しみを重視した活動の実際

① 導入の工夫

導入の場面を中心に、自分たちの生活と関わりのあるものを使ったクイズや素材を準備することで、児童の主体的に取り組む態度につながった。

- ・運動場にある身近な遊具の数当てクイズ
- ・マトリョーシカの数当てクイズ
- ・クラスの中で好きな色的人数当てクイズ



② 児童の実態に合わせた多様な慣れ親しみの活動

英語表現に十分に慣れ親しませるために、できるだけ何度も口ずさむようなゲームを中心に取り組んだ。さらに、クラスの実態に合わせてゲームの種類やルールを変えたり、絵本の読み聞かせや歌に体の動きを加えたりすることで、児童が活動を繰り返し楽しむ姿が見られた。



③ 学習した英語表現を活かした場の設定

ペアでの活動を設定する際に、難しい英語表現を加えず、今まで学習してきた数の英語表現を使うことを活動のめあてとして児童へ伝えた。慣れ親しみの活動の中で、自信をつけて英語表現を使うことは、児童にとって安心感につながり、友達と楽しんで活動に関わることができた。

- ・ALTから聞いた数と同じ人数のグループになる活動
- ・ペアでじゃんけんをして、勝った人は相手の数カードから自分の欲しい数カードを伝える活動

2 活動における児童の様子（振り返り）と本実践のまとめ

ALTの先生のまねをして、数の英語を言うことが楽しかった。

ALTの先生の言う数が分かって、ビンゴがいっぱいできたことが嬉しかった。

0から10までが、英語で数えられることができるようになった。



（まとめ）

音への慣れ親しみのある活動を十分に行うことによって、新しい英語を知ることを楽しむ児童の姿が見られた。

今後も、活動を楽しみながら単語を少しずつ増やし、簡単な児童同士のコミュニケーションを行うなど、発達段階に合わせて活動の幅を広げていきたい。

活動の中で、繰り返し同じ言葉を聞いたり話したりすることによって、児童は少しずつ自信を持って次の活動に取り組んでいます。



指導助言・アドバイスコナー

低学年で外国語教育に取り組む場合、本実践のようにまずは子供に身近な題材に関する単語が良いと、私も考えます。単語を繰り返し何度も聞く中で低学年の子供達は、英語と日本語のリズムや音の違いに気付き、英語の音の特徴をつかめるでしょう。日本語にはない英語特有のリズムや音が子供には面白いようです。また、本実践のように体を使いながら数えたり絵本の読み聞かせを聞いたりするのも有効です。低学年で外国語教育を実施する場合は、できるだけ多くの身近なものを表す語彙に触れさせておくと、中学年での外国語活動での言語活動の幅が広がります。

（直山木綿子）